

Title	癌と人 第37号 目次
Author(s)	
Citation	癌と人. 37
Issue Date	2010-05
Text Version	publisher
URL	<a href="http://hdl.handle.net/11094/23544">http://hdl.handle.net/11094/23544</a>
DOI	
rights	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

◎ 題 字 ◎

財団法人 大阪癌研究会  
元理事長 千代賢治



\*表紙絵解説

「蟹」のいわれ

蟹の絵は川俣順一大阪大学名誉教授にお願いして描いてもらったものである。

癌に関係ある学会のシンボルマークに蟹の図案化したものがよく用いられている。

癌と蟹の関係の歴史は遠くギリシャ時代にさかのぼる。ギリシャの医聖ヒポクラテス著述のところで、今日私どもがいう癌と思われる記録がある。ヒポクラテスはそれを「カルキノス」と呼んでいる。カルキノスというのは日常一般に用いられていた言葉で、蟹のことである。ヒポクラテスが記述しているという病気（癌）の格好が蟹に似ていたのでもそれを呼び名とした。

今日、欧米では日本という癌をカルチノーマと呼んでいる。それはカルキノスという言葉からきたもので、両者は同義語である。

ヒポクラテスはカルキノス（蟹）という日常語を純然たる医学語とした人である。癌と蟹の関係はそれ以来続いている。

・ごあいさつ	1
田口 鐵 男	
・がん予防はどこまで可能か?	2
田口 鐵 男	
・がんに対する補完代替医療について	8
岩 永 剛	
・パン酵母グルコポリサッカライドの 最新情報	21
梶 本 庸 右	
・糖尿病と癌	26
野 中 共 平	
・大腸がん検診を生かすには	31
阪 本 康 夫	
・女性が医師になるということ	34
上 田 さ つ き	
・肝がんにおけるがん幹細胞マーカーの 同定と解析	37
鈴 木 淳 史	
・Wnt5a/Ror2 シグナルによる悪性骨肉腫の 浸潤・転移制御	38
西 田 満	
・Metabolic profiling により同定された 膀胱癌特異的代謝産物の尿液解析による 膀胱癌術前診断への応用	39
大 内 田 研 宙	
・カテプシン E による乳癌制御機構の解明	41
川 久 保 友 世	
・癌と免疫の攻防戦： TGF- $\beta$ 高産生型上皮癌による Treg を介した癌免疫抑制機構の解明	42
茶 本 健 司	
・制御性 T 細胞の腫瘍浸潤制御による 抗腫瘍免疫の強化	43
平 田 多 佳 子	
・白血病発症における転写因子 Evi-1 isoform の生理的意義	45
合 山 進	
・FGF-R2 阻害剤および TGF $\beta$ -R 阻害剤を 用いた胃癌分子標的治療の検討	46
八 代 正 和	
・アポトーシス促進因子 Bim の 発現制御メカニズム解析	48
松 井 啓 隆	
・染色体転座点から単離した microRNA が はたす発ガン機序の解明	50
園 木 孝 志	
・血球系転写因子による白血病幹細胞の自己 複製能制御メカニズムの解明と臨床応用	51
中 島 秀 明	
・平成 20 年度事業報告	53
・平成 20 年度収支計算書等	56
・平成 21 年度寄付者御芳名	62
・平成 22 年度事業計画書	66
・平成 22 年度収支予算書	67
・財大阪癌研究会役員・評議員・賛助会員名簿	68
・財団法人大阪癌研究会寄附行為	73